

中国五大学結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

9/5～6 に広島大学西体育館において、中国五大学が開催されました。

広島大学の結果は、以下のとおりです。

(男子)

vs 鳥取大学

○2-1 (25-12、23-25、25-21)

vs 島根大学

○2-0 (25-20、25-13)

vs 岡山大学

●1-2 (19-25、25-18、22-25)

vs 山口大学

○2-0 (25-18、25-18)

(女子)

vs 岡山大学

●1-2 (25-19、24-26、21-25)

vs 島根大学

●0-2 (20-25、15-25)

vs 鳥取大学

○2-0 (25-8、25-6)

vs 山口大学

●1-2 (25-18、17-25、16-25)

(中国学連 HP)

<https://chugoku.hiroshima-u.ac.jp/godai-2026.html>

五大学は、一昔前であれば対戦カードによってメンバーを大きく入れ替えるチームもあり

ましたが、年々実力差が縮まっており、上位になったチームでも苦しい場面が多く見られました。最終順位では下位になったチームでも、春からグンと伸びた選手、今後の活躍が期待される選手が登場し、秋季リーグ戦はどのカテゴリー、どの試合でも拮抗した展開になることを予感させる大会となりました。

広大は男女ともに波がありましたが、前向きに捉えると、内容が良かったセットをリーグ戦でも再現できるようであれば、春の順位から大きく巻き返せると思います。男子であれば、島根大学戦で機能したブロックと、ひと夏を越えて身体にキレが出た1年生の田代（愛知・名東高校）を軸に、ラリー中の速い攻撃、幅のある攻撃の精度がより高まれば、春（2勝）の倍以上は十分に勝てるチームレベルです。メンバーチェンジで入った選手たちも、限られた時間の中で自分の良さを発揮出来ていたと思いますので、ここまでの道のりをまずは評価して、さらに上を目指すための努力を続けて欲しいと思います。

女子は、1日目に森原（1年・広島・安田女子高校）が上に向かってしかボールを打てておらず、全敗もあり得たほどの内容でしたが、2日目に自ら考えて修正してきたことは非常に素晴らしかったと思います。同じく1年生の太田（三重・鈴鹿中等教育学校）は、コート内で遊べるほどの余裕が出ており、エースの西岡（3年・兵庫・姫路高校）に心技体でかなり近付いたと思うほどでした。西岡、太田、岩永（4年・長崎西高校）の3枚は相手コートからみるとかなりの脅威ですが、一方で裏のローテーションは明らかなチャンスローテになってしまっています。秋リーグは私立のくらしき作陽大学が昇格し、オープントスで勝てるようなチームは2部にはもういません。広大は、3本目だけ言えば2部最上位だと感じていますので、その力を生かせるような1本目と2本目に取り組んで欲しいと思います。

五大学は、コロナ禍を挟んで10年ぶりの広大開催となり、多くの同窓生にご声援、ご支援いただきました。誠にありがとうございました。

秋リーグは、10月3、4日に1部男子が広島大学で、10月10日に2部男女が岡山県かもがわ総合スポーツ公園体育館で開幕します。

下半期も引き続きよろしくお願いいたします。